

## 第2回 HiPSI セミナー

(Hiroshima University, The Research Core for **Plant Science Innovation**)

日時：平成30年1月24日（水）14:35～16:05

場所：理学部E211講義室

### 演題 1

「高等植物におけるクロロフィル分解制御の分子遺伝学」

理学研究科 草場 信 教授

クロロフィルは光合成における光エネルギーの補足に中心的な役割を果たす物質である。クロロフィルは中間体を含め、単独で存在すると細胞死をもたらす危険な物質であることもあり、その生合成・分解は厳密に制御されている。これまでに生合成系については多くの研究がなされてきたが、今回は近年の分子遺伝学的な解析から明らかになってきた分解経路およびその制御メカニズムについて紹介したい。

### 演題 2

「植食性昆虫の寄主選択～チョウの産卵行動と植物化学成分」

生物圏科学研究科 大村 尚 准教授

多くのチョウは、幼虫期に限られた種類の植物を寄主利用する植食性昆虫である。母チョウは前脚跗節にある味覚感覚器を用いて植物に含まれる化学成分を調べ、寄主植物であることを認知すると産卵を行う。本講演では、チョウの産卵行動を制御する植物化学成分について総括し、害虫防除の観点から植食性昆虫の寄主選択機構を調べることの意義について考察する。

本セミナーは5研究科共同セミナーとして認定されます。

本セミナーは「平成29年度 第27回数理分子生命理学セミナー」との共催です。

お問い合わせ：島田 裕士（内線7450, hshimada@hiroshima-u.ac.jp）